

2016年9月期 第3四半期

連結決算説明資料

(2015年10月-2016年6月)

株式会社 FPG

(code:7148)

東証1部



2016年7月

業績ハイライト	P3
レビュー	P4
トピックス	P5～6
タックス・リース・アレンジメント事業の状況	P8～9
出資金に含まれる手数料について	P10
損益計算書	P12
貸借対照表	P13
2016年9月期 業績予想	P15
2016年9月期 配当予想	P16
中期的な経営戦略	P18～20
事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み	P21

業績の総括



■ 業績ハイライト

◆ タックス・リース・アレンジメント事業は好調継続、その他事業も貢献

上期に引き続き、業績好調な投資家(顧客)からの需要が堅調に推移した。また、高いリピーター率の維持および販売ネットワークの拡大による新規顧客の獲得により、タックス・リース・アレンジメント事業は好調を継続。オペレーティング・リース事業の出資金販売額は、815.5億円(前年同期比16.9%増)に増加。

その他事業において、保険事業、証券事業等が競争力のある商品により、売上を拡大。その結果、その他事業を含めた売上高・利益は、前年同期比、増収増益を達成した。

【億円】	2015年9月期 第3四半期	2016年9月期 第3四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (4/28修正後)	通期予想 進捗率	2015年9月期 通期実績
売上高	121.4	146.9	25.5	21.0%	193.8	75.8%	153.1
営業利益	85.7	94.7	8.9	10.5%	125.4	75.5%	100.8
経常利益	86.6	95.9	9.3	10.8%	126.6	75.7%	100.5
親会社株主に 帰属する (四半期) 当期純利益	55.2	61.7	6.5	11.8%	80.4	76.8%	63.4
オペレーティング・ リース事業 組成金額	2,050.9	3,191.6	1,140.7	55.6%	3,600.0	88.7%	2,973.4
出資金 販売額	697.9	815.5	117.6	16.9%	1,115.8	73.1%	841.7

▶ 主なトピックス

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌支店、金沢支店の開設 ・企業活動に係るコンプライアンスのさらなる強化のため、コンプライアンス部を新設 ・不動産小口運用商品 Premium Asset Series「FPG渋谷宮益ビル」100個販売開始 ・業績予想の上方修正 ・配当予想の修正（増配）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「FPG渋谷宮益ビル」100個完売。販売好調により50個追加販売開始 ・東京、千葉、名古屋、大阪にて個人投資家向け説明会開催（～7月）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社主催 機関投資家スモールミーティング参加

▶ トピックス - タックス・リース・アレンジメント事業

組成面

- ◆ 海外関係会社との連携強化による航空機リース案件の組成力拡大
 - ・船舶、海上輸送用コンテナのリース案件を当社に独占的に紹介してきたFPG AIMが航空機リース案件まで紹介を拡大。当期は同社紹介による新規賃借人3社と組成、今後も紹介継続
 - ・FPG Amentumとの協業による初の任意組合案件の組成

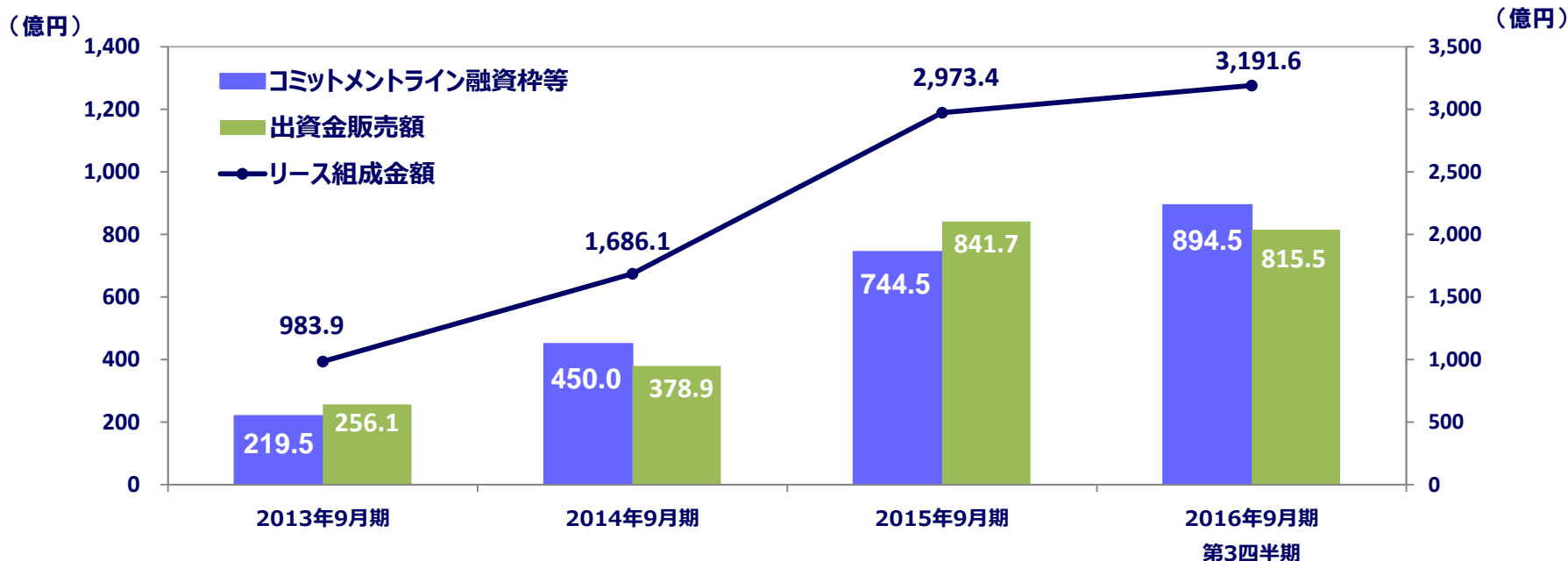
販売面

- ◆ 当四半期に119会計事務所、2金融機関と提携（→P6「販売ネットワークの拡大」参照）
マイナス金利によりフィービジネスの拡充を図る地銀からの紹介が増加
- ◆ 営業力のさらなる強化を図るため、札幌支店、金沢支店の開設、営業部門の人員増強
全国をカバーする営業拠点で地域に密着した営業活動を推進

■ トピックス - 資金調達枠と組成力の拡大



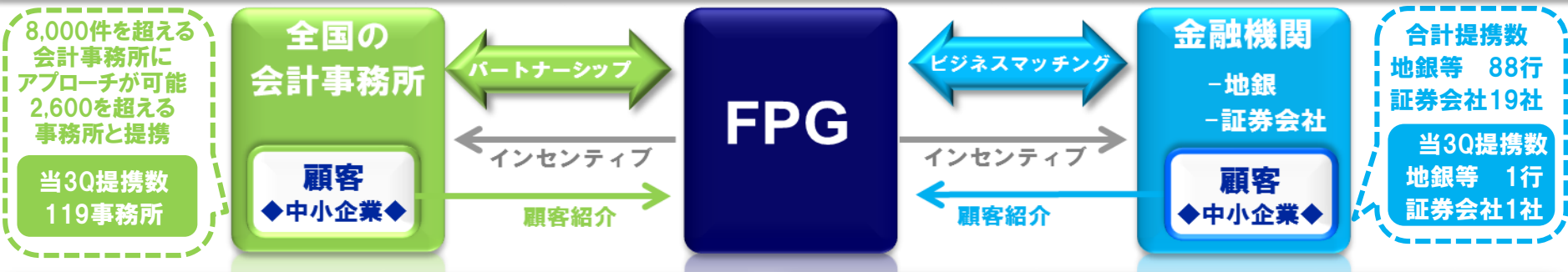
拡大した資金調達枠を活用し、リース案件の組成は順調に拡大



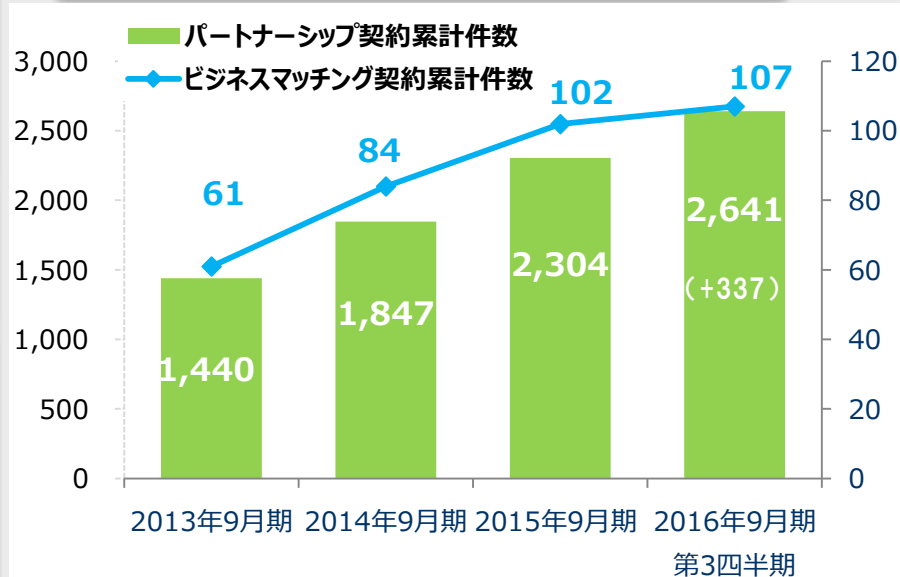
タックス・リース・アレンジメント事業で、組成するオペレーティング・リース事業では、出資金について、将来、投資家に譲渡することを前提に、当社が一時的に立替取得するのが通常。この立替取得の資金は、自己資金による他、金融機関からのコミットメントライン融資枠等の短期借入金で調達している。資金調達力が拡大すれば、複数の案件を同時に組成しやすくなる他、物件金額の大きい案件を組成しやすくなる等、当社の業績拡大に寄与する。当第3四半期では894.5億円に拡大した資金調達枠を活用し、3,191.6億円のリース事業を組成（前年同期比1,140.7億円増）、815.5億円（前年同期比117.6億円増）の出資金を販売した。

トピックス - 販売ネットワークの拡大

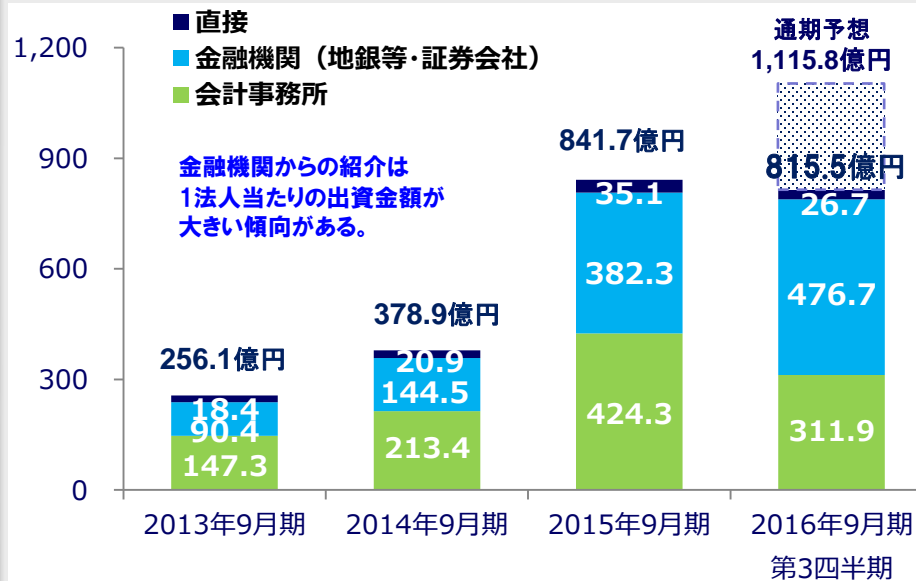
全国の会計事務所及び金融機関との提携拡大 (前期末比 337事務所、5金融機関増)
証券会社、地銀を中心とした金融機関からの投資家 (顧客) の紹介が増加



会計事務所とのパートナーシップ契約件数と
金融機関とのビジネスマッチング契約件数



ネットワーク別出資金販売額の推移



營業概況



■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

◆ 関連会社との連携推進による積極的な組成と、旺盛な投資家需要により売上が増加

組成面

海外関連会社との連携推進等により、リース案件の組成を積極的に行った結果、オペレーティング・リース事業組成金額は、過去最高を記録した前年度通期を上回り、3,000億円を超過。前年同期比55.6%増の3,191億円となった。

販売面

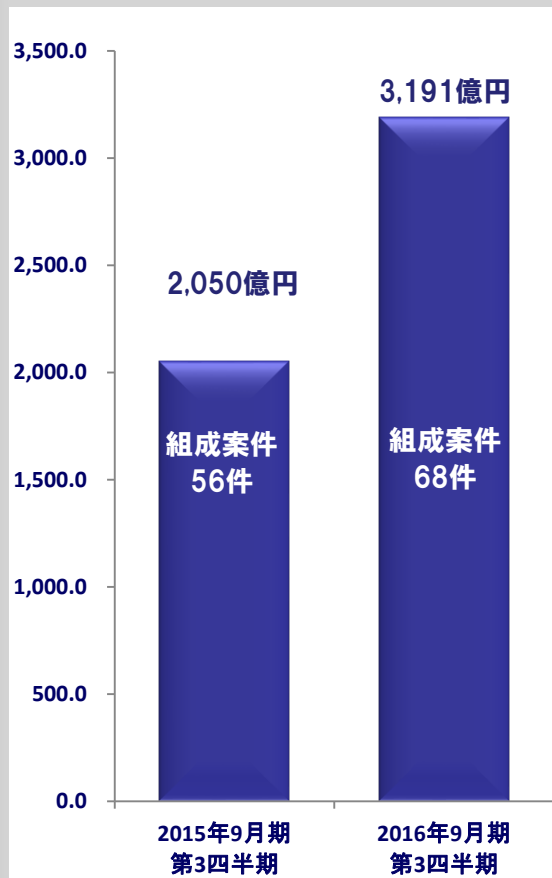
上期に引き続き、業績好調な投資家(顧客)からの需要が堅調に推移した。事業承継のニーズは大口化しており、小口から大口までのさまざまな投資家のニーズを全国規模の販売ネットワークから吸い上げ、多様なニーズに対応することによって販売力が向上。出資金販売額は前年同期比16.9%増の815億円となった。

(億円)	2015年9月期 第3四半期	2016年9月期 第3四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (4/28修正後)	通期予想 進捗率	2015年9月期 通期実績		
オペレーティング・リース事業 組成金額	2,050.9	3,191.6	1,140.7	55.6%	3,600.0	88.7%	2,973.4		
出資金 販売額	697.9	815.5	117.6	16.9%	1,115.8	73.1%	841.7		
	船舶	383.4	240.9	△142.5				△37.2%	439.5
	コンテナ	117.4	214.4	96.9				82.5%	167.1
	航空機	196.9	360.2	163.2				82.9%	235.0
購入社数(累計)	1,299	1,595	296	22.8%			1,653		
タックス・リース・ アレンジメント事業 売上高	114.8	132.7	17.8	15.6%	175.3	75.7%	141.2		
手数料(売上高/出資金販売額) フルエクイティ案件を除く	16.5%	16.3%	△0.2ポイント				16.8%		

■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

オペレーティング・リース事業 組成金額

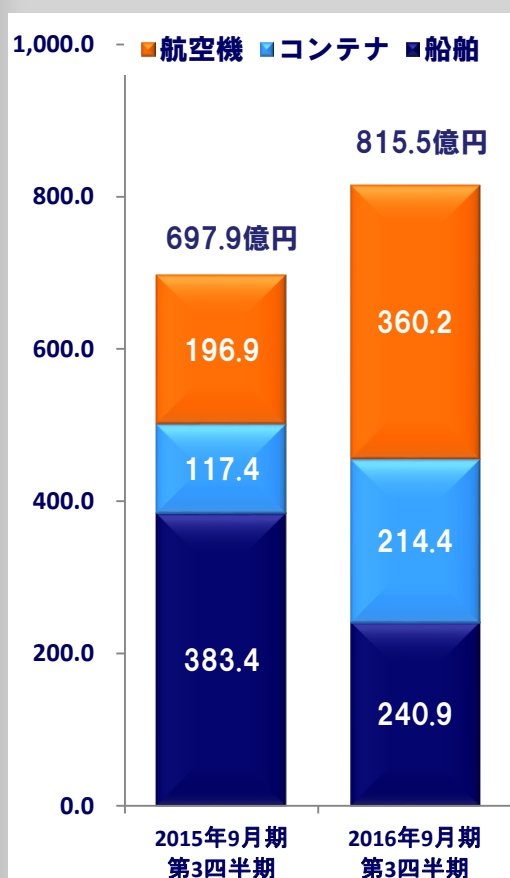
対前年同期比 55.6%増



* 案件数に関してはSPCの数をカウント

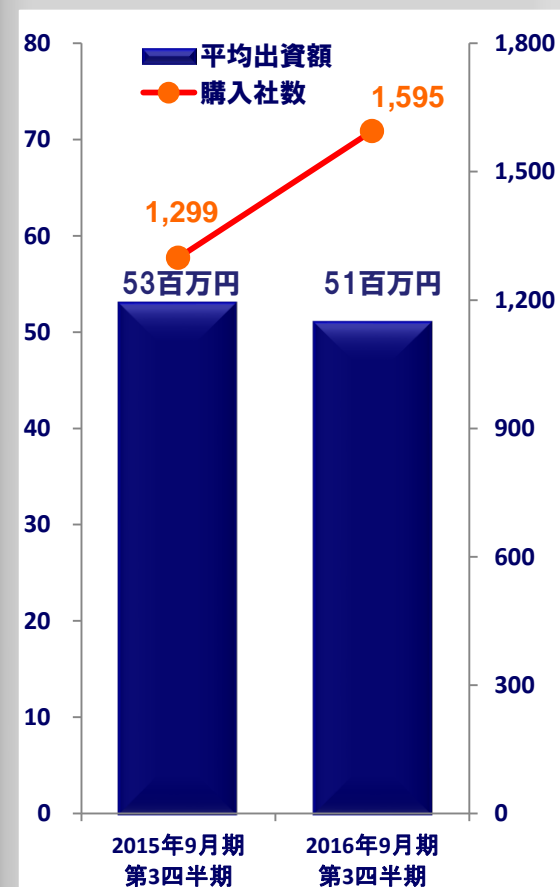
リース物件別出資金販売額

対前年同期比 16.9%増

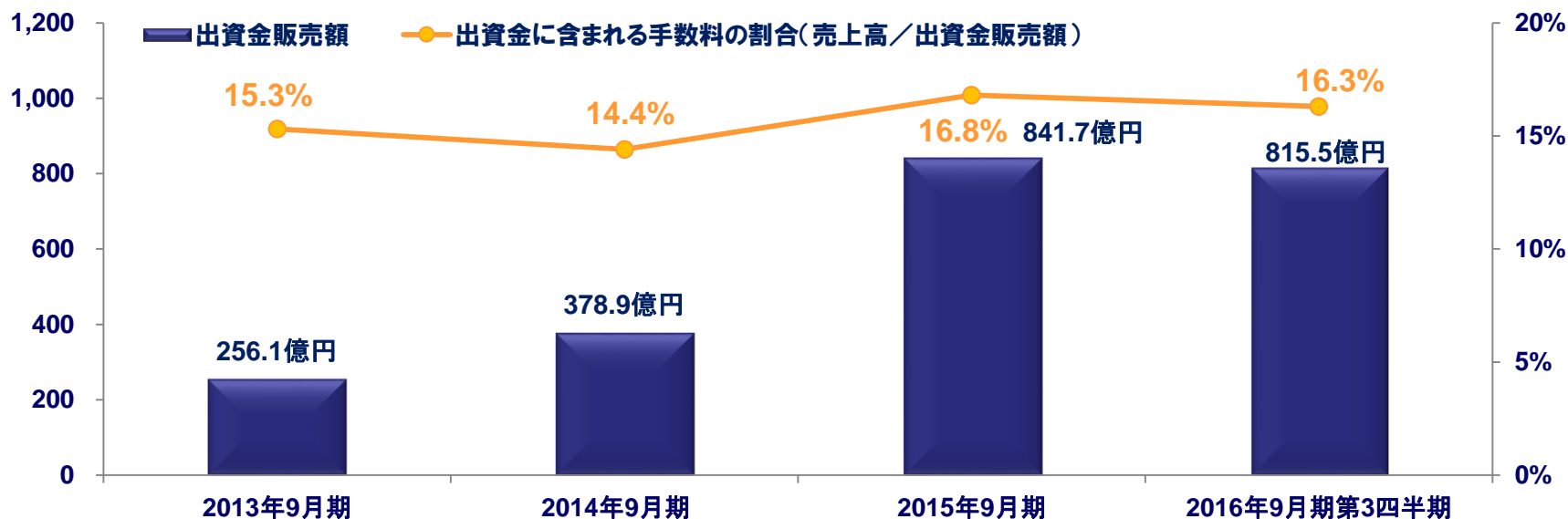


購入社数 (累計)/平均出資額

対前年同期比
296社増 / 2百万円減



■ 出資金に含まれる手数料について



(億円)	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期 第3四半期
タックス・リース・アレンジメント 事業売上高	37.4	54.4	141.2	132.7
出資金販売額	256.1	378.9	841.7	815.5
出資金に含まれる手数料の割合 (売上高/出資金販売額)	15.3%	14.4%	16.8%	16.3%

出資金に含まれる手数料の推移

旺盛な投資家需要に応えるため、積極的に案件を組成。出資金に含まれる手数料については、直近数期において概ね14~15%台に推移しており、他の金融商品に比べ、高い収益性を維持している。なお、第1四半期に高収益案件を販売したことにより、第3四半期(累計)の利益率は16.3%となった。第4四半期は例年と同様の水準になる予定。

財務ハイライト



■ 損益計算書

(億円)	2015年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減
売上高	121.4	146.9	25.5
売上原価	15.7	19.1	3.3
売上総利益	105.6	127.8	22.1
販売管理費	19.8	33.0	13.1
営業利益	85.7	94.7	8.9
営業外収益	6.1	7.7	1.6
営業外費用	5.3	6.5	1.2
経常利益	86.6	95.9	9.3
税引前四半期純利益	86.7	94.3	7.6
法人税等合計	31.5	32.3	0.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	55.2	61.7	6.5

1 売上高 146.9億円 (+25.5億円) 単位:百万円

タックス・リース・アレンジメント事業	13,270 (+ 1,788)
不動産関連事業	152 (+ 49)
保険仲立人事業	382 (+ 149)
証券事業	310 (+ 118)
航空機投資管理サービス (Amentum)	419 (-)

2 売上原価 19.1億円 (+3.3億円) 単位:百万円

案件組成コスト	267 (+ 66)
顧客紹介者への支払手数料	1,634 (+ 264)

→タックス・リース・アレンジメント事業の売上が好調だったことから、顧客紹介に係る手数料が増加。

3 販売管理費 33.0億円 (+13.1億円) 単位:百万円

人件費	1,727 (+ 761)
-----	---------------

→主に積極的な人材採用、連結子会社の増加により、人件費、その他の費用が増加。
*連結従業員数 前年同期末137名 → 当期末184 (+47)

4 営業外収益 7.7億円 (+1.6億円)

リース開始後に商品出資金を販売した場合、経過分の利息(立替利息)を投資家(顧客)から徴収し、受取利息として計上しているが、出資金販売額の増加に伴い、立替利息が増加。

5 営業外費用 6.5億円 (+1.2億円)

資金調達の拡大に伴う支払利息等が増加。

貸借対照表

資産 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期第3四半期末	増減
流動資産	660.3	905.2	244.9
現金及び預金	73.8	87.6	13.8
商品出資金	465.2	625.5	160.3
組成用不動産	15.7	38.4	22.7
その他 流動資産	105.5	153.5	48.0
固定資産	29.9	27.8	△2.0
資産合計	690.8	933.4	242.5

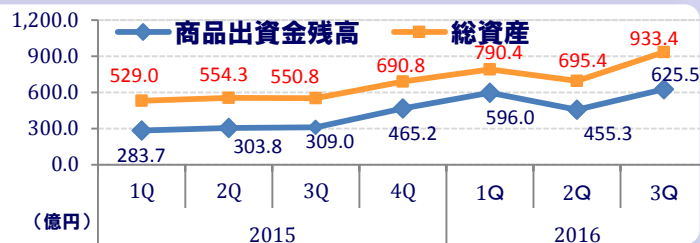
負債 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期第3四半期末	増減
流動負債	500.3	729.5	229.2
短期借入金等	294.2	506.4	212.2
前受金	73.8	119.8	46.0
その他 流動負債	132.2	103.2	△28.9
固定負債	28.8	40.4	11.6
長期借入金・社債	26.6	38.2	11.5
その他 固定負債	2.1	2.2	0.0
負債合計	529.1	770.0	240.9

純資産 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期第3四半期末	増減
資本金	30.8	30.9	0.0
資本剰余金	30.3	30.4	0.0
利益剰余金	99.5	138.2	38.6
自己株式	△0.0	△35.2	△35.2
為替換算調整勘定	0.1	△1.8	△1.9
純資産合計	161.7	163.4	1.6
負債純資産合計	690.8	933.4	242.5

1 商品出資金 625.5億円 (+ 160.3億円)

旺盛な投資家需要により出資金の販売を進めたが、積極的に案件組成を行ったため、商品出資金は過去最高額。来期に販売予定の出資金を含む。

商品出資金の取得資金は主にコミットメントライン融資枠等の短期借入金で調達(一時的な立替取得)



2 組成用不動産 38.4億円 (+ 22.7億円)

信託機能を活用した不動産小口運用商品用の不動産。4月に販売を開始。3Q販売分の譲渡は7月1日となる。

3 その他 流動資産 153.5億円 (+ 48.0億円)

その他 流動負債 103.2億円 (△ 28.9億円)

証券事業の通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際し、顧客とデリバティブ取引契約を締結するとともに、カバー取引として金融機関とデリバティブ取引契約を締結。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金、負債側にデリバティブ債務と顧客からの受入保証金を計上。為替変動等の影響によるデリバティブ取引の時価変動等のため、デリバティブ債権・債務、差入・受入保証金が増加。その他流動資産は任意組合「FPG航空機賃貸事業組合第1号」への一時的な貸付金44.6億円および繰延税金資産5.3億円が増加。

4 前受金 119.8億円 (+ 46.0億円)

当四半期末の商品出資金の増加により、第4四半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料の前受金が増加。不動産信託受益権15.1億円の前受金を含む。

5 長短借入金等 544.7億円 (+ 223.8億円)

商品出資金、組成用不動産の取得原資として資金調達が増加。

2016年9月期 業績予想



2016年9月期 業績予想 (2016年4月28日付)

(億円)	2016年9月期		2016年9月期	通期業績予想 3Q進捗率
	上半期 (実績)	下半期 (予想)	通期予想 (4月28日修正)	
売上高	105.9	87.8	193.8	75.8%
タックス・リース・ アレンジメント事業	97.5	77.7	175.3	75.7%
その他	8.4	10.1	18.5	76.8%
営業利益	71.0	54.3	125.4	75.5%
経常利益	71.2	55.3	126.6	75.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	45.4	34.9	80.4	76.8%
オペレーティング・リース 事業組成金額	1,819.9	1,780.0	3,600.0	88.7%
出資金販売額	565.8	550.0	1,115.8	73.1%

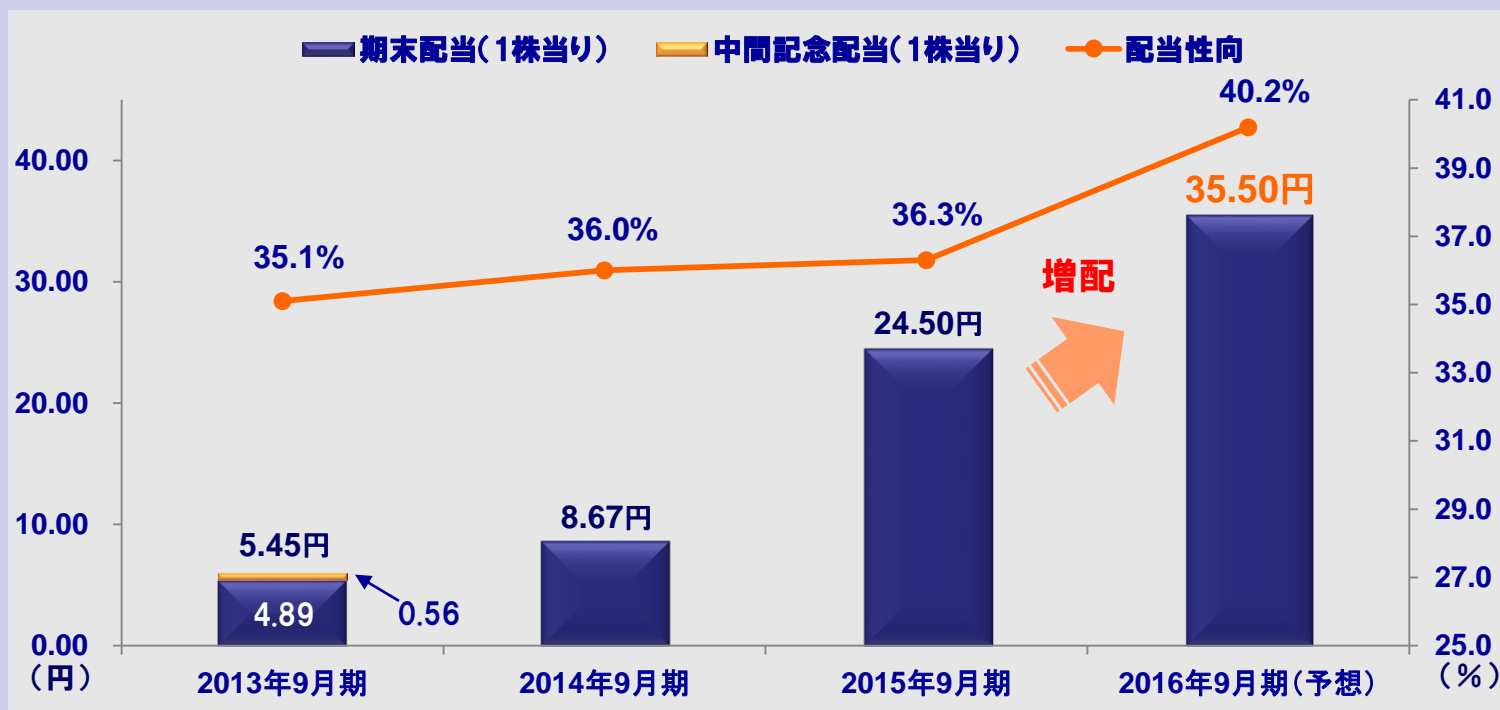
タックス・リース・アレンジメント事業については、オペレーティング・リース事業の案件組成が好調に推移した。投資家からの需要は引き続き強く、タックス・リース・アレンジメント事業の売上高は計画をやや上回る水準となった。

その他の事業については、不動産、保険、証券、航空機投資管理サービス等の各事業が売上高の伸長に寄与しており、連結の売上高、利益については、ほぼ計画ライン上にある。

◆ 期末配当は1株当たり35.50円を予想。配当性向は40%に

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し、安定した配当を継続して実施していくことを利益配分の基本方針とし、業績に応じた利益還元を実施すべく、目標連結配当性向を概ね30%以上に設定しているが、さらなる株主還元を目指す。

2016年9月期の業績予想に基づき、2016年9月期配当は35.50円を予想。



(注1) 株式分割に伴う影響を加味し、遡及調整を行った数値を記載。

(注2) 2013年9月期の中間配当は東証1部上場に関する記念配当。

中期的な経営戦略の進捗



▶ 航空機案件の拡大

海外関係会社2社との連携強化による積極的な案件組成

FPG Amentum との協業による任意組合案件の組成

連結子会社FPG Amentumの航空機投資管理機能を活用した新たな航空機リース案件を組成。投資家が事業主体となり、投資家のニーズに合わせて従来の匿名組合とは異なるメリットを取ることができる。

所在地	アイルランド共和国ダブリン市
代表者	Martin Bouzaima
事業内容	航空機投資管理サービス事業
資本金	500,000ユーロ
設立日	2005年11月29日

FPG AIMとの協業による航空機案件の組成

持分法適用関連会社（FPGの持ち分25%）。国際的な海運会社、コンテナリース会社を対象に船舶・海上輸送用コンテナ等のリース案件を当社に独占的に紹介してきたが、今3Qより航空機リース案件に参入。新規賃借人3社を獲得。

所在地	オランダ王国ロッテルダム
子会社所在地	シンガポール、アラブ首長国連邦
代表者	Marcus Jung
事業内容	オペレーティング・リース事業の案件組成サポート
資本金	33,000ユーロ
設立日	2012年2月10日

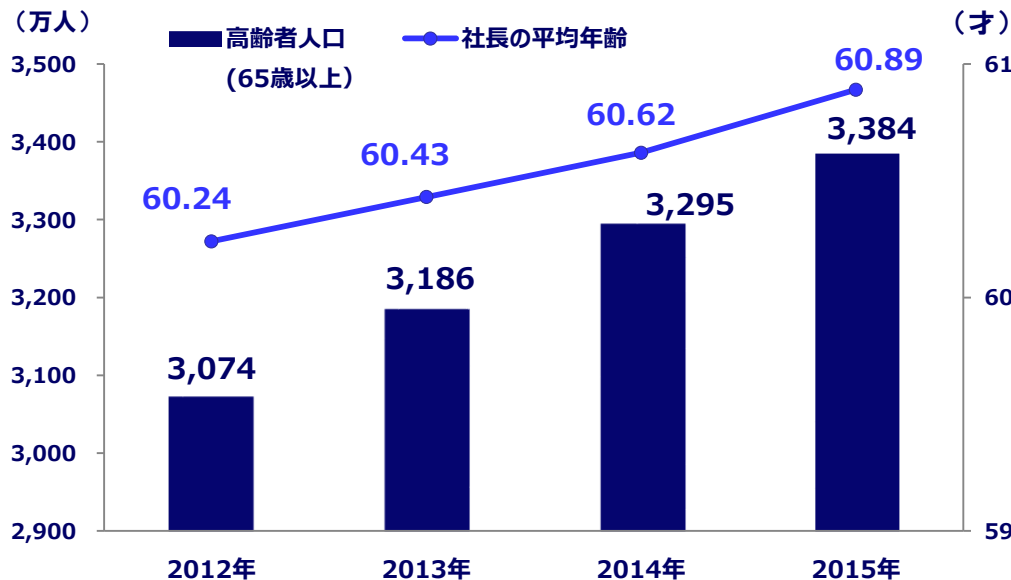
▶ 高齢化社会に伴い、拡大する顧客ニーズに対応する商品・サービスの拡充

法人の事業承継、個人の資産承継ニーズの拡大

2015年に高齢者人口は3,384万人、総人口に占める割合は26.7%と共に過去最高、80歳以上人口は初めて1,000万人を超える。全国社長の平均年齢も年々高齢化が進んでいる。

日本の高齢者人口と社長の平均年齢推移

* 高齢者人口の出典:「人口推計」(総務省統計局) / 社長の平均年齢推移:東京商工リサーチ調べ



FPGグループの商品・サービス

JOL

オペレーティング・リース商品

■ 事業承継 (株価対策)

不動産

不動産小口運用商品

■ 相続・贈与用資産

保険

経営者・役員向け保険

■ 退職金の準備

M&A

譲渡側の専任アドバイザー

■ 事業承継

信託

新商品
「FPG信託の財産保全信託」

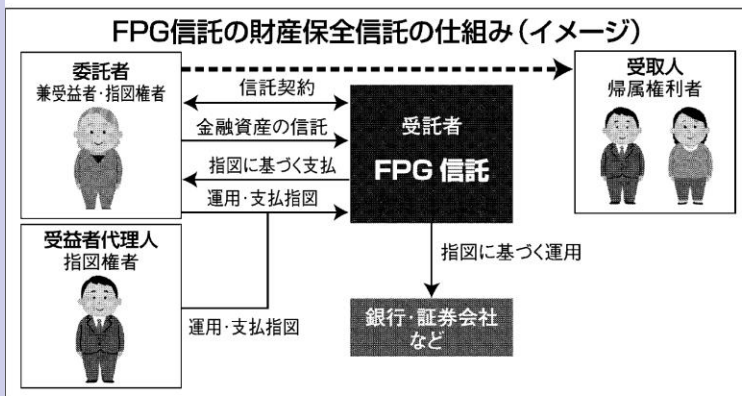
■ 振り込め詐欺対策、認知症・高度障害対策、円滑な財産承継

FPG信託の新商品『FPG信託の財産保全信託』

- 高齢化社会が抱えるさまざまな課題・問題に対して、信託の機能を活用。
- 顧客に安全性と利便性を兼ね備えた商品を提供。

富裕層ライフステージ後半 包括サポート

FPG信託



取り扱いを始めたの「FPG信託の財産保全信託」。信託財産は金銭、預金、投資信託などの金融資産で、最低受託額は3000万円。期間は信託設定日から信託の終了事由に該当するまで。利益は委託者に、信託財産は同社が所

地銀・信金提携も

FPGグループのFPG信託(東京都千代田区、野元隆広社長、03・52288・80030)は、信託機能を活用した富裕層向け財産管理商品の取り扱いを始めた。振り込め詐欺対策、認知症・高度障害対策、円滑な財産承継の三つの機能をパッケージ化した信託商品で、ライフステージ後半を包括的にサポートするサービスとしては業界で初めて。地方銀行や信用金庫など地域金融機関との提携も想定し、2017年度に100件程度の受託、10行程度の提携を目指す。

振り込め詐欺対策／認知症・高度障害対策／円滑な財産承継

有者となるが、信託財産の実際の利益は受益者である委託者に帰属する。

新商品の機能の一つ目は、受益者でもある委託者が金融資産を同社に信託した上で、100万円以上の資金が必要な場合、委託者があらかじめ指定した受益者代理人の同意を得て手続きする必要があるため、振り込め詐欺対策になる。

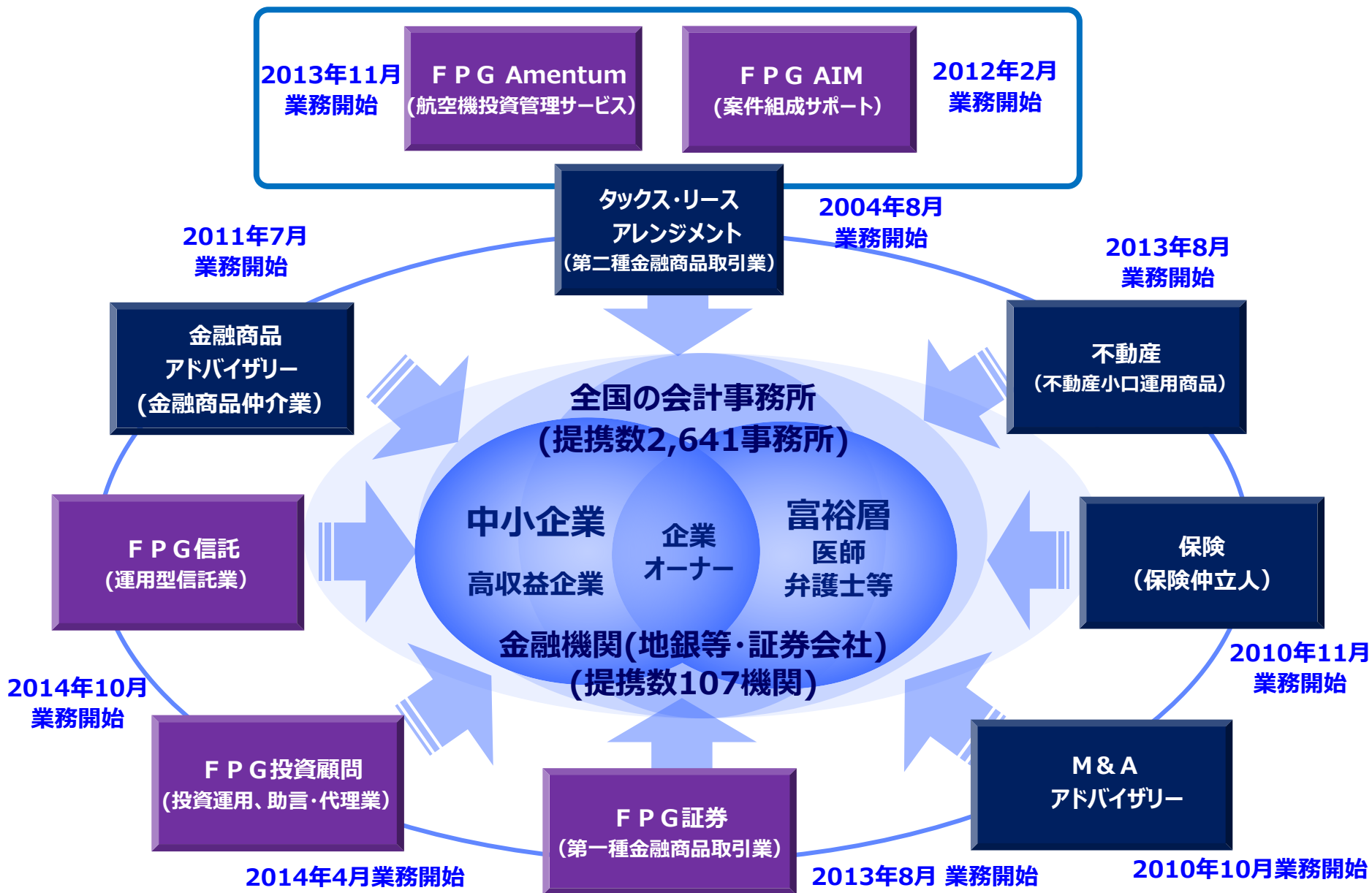
また、認知症・高度障害などにより委託者の判断能力が低下した場合、受益者代理人が委託者に代わって運用・支払い指図ができる。この場合の払い出しは原則、最大で月額30万円となる。

遺産協議円滑に
さかの委託者が死亡した場合でも、信託された資産の受取人と受け取り割合をあらかじめ定めておくことで遺産分割協議などの手続きを待たずに円滑に信託財産を承継できる。これら三つのほかに信託財産からの定時給付など追加機能もある。FPG信託は、地域金融機関のほか、税理士や弁護士、介護付き有料老人ホームなどの連携も視野に入れ、委託者の獲得増を図る方針。

財産管理で信託機能強化

※記事は2016年7月15日に日刊工業新聞に掲載されたもの。日刊工業新聞社の許諾を得て掲載。

事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社FPG IR担当

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>